



# 地球暮らし

地球温暖化防止と  
環境共生住宅を考える

株式会社さつまホーム企画室  
地球やりなおし計画  
事務局

## 資源を大切に作る社会に

みなさんこんにちは、さつまホームの瀧川です。今年は寒い冬でしたが、この頃少し暖かくなってきたでしょうか？春が近づいてきた感じです。ただ同時に花粉も近づいて来た様で、嬉しかったり憂鬱だったりですが・・・(涙目)。

今年1月から始めたゴミ問題のお話、本当は先月で終わる予定だったのですが、執筆していて本当に大切な事だと感じましたので、おさらいも兼ね、問題点を再考してみます。



## ごみ問題と3R～私たちができるもうひとつの温暖化対策 第3回～

### 本来の目的を忘れたリサイクル

3Rのひとつ、リサイクルの本来の目的はゴミの減量でした。しかし「リサイクル」はいつの間にか、モノを大量に売りたい企業の隠れ蓑として利用され、生産量・消費量が爆発的に増加した結果、ゴミの量は却って増えてしまいました。大量廃棄が大量リサイクルに移行しただけです、「資源と環境を守る」という視点が疎かになっているのです。下の表は第25号に掲載したアルミ缶のリサイクルに関する統計ですが再掲します。

	消費量 (万缶)	リサイ クル率	ごみになった 缶(万缶)
1985年	302,400	40.6%	180,230
1995年	1,592,000	65.7%	546,056

アルミ缶の消費量とリサイクル率の推移

### リサイクルか焼却か・・・

多くの製品は、天然資源から新たに作るよりリサイクル資源から作る方がコスト高になると言われています。またリサイクルのプロセス別に分析すると、再生の工程よりも収集段階の方がより多くのコストと

エネルギーを要します。ものによっては「燃やして発電に利用したほうがいい」という意見もあります。

### 複合素材の弊害

容器包装のプラスチックは、その保護すべき製品の種類別に実にさまざまなものがあり、保温、防湿、耐熱などの機能を高めた複合素材も使われています。それらが混ざり合って捨てられることが質の良いリサイクル製品を生産する妨げになっています。環境を守るとうする善意が非効率を生み出している場合もあります。

### 破綻する先進国のリサイクル

国内のペットボトルや廃家電は、近年海外への流出が急増しているそうです。ペットボトルのリサイクル業者が倒産する例も出ています。ドイツなどのリサイクル先進国でも同様の問題が起こっています。輸出先は中国や東南アジア。日本は良くても地球規模で見た場合には輸出先の環境汚染が大きな問題になります。

### 未だあいまいな生産者責任

ペットボトルを例にとると、収集を担当する自治体の負担が年間数百億円に上るのに

対し、生産者のコスト負担は1億円程度とされています。家電、パソコン、自動車はそれぞれにリサイクルのための法律が施行され、メーカーはリサイクルを意識して製品を作る方向に向かっていますが、法体系が複雑化していて消費者が理解しにくいものになっています。



### リサイクルの限界を踏まえて

リサイクルというのは、洗浄、分離、再処理などの過程において、実はかなり高度な技術力を要するものです。日本では、その技術がまだ確立しないうちに、社会の要請・・・というか専ら企業の都合によって世に躍り出て脚光を浴びてしまった感があります。やはり個人も企業も、廃棄する際のことをよく考え、使い捨て製品や過剰包装を見直すことが最も重要だと思います。

## トピック

### 日本に巨大な「都市鉱山」

物質・材料研究機構(茨城県つくば市)。家電製品などに含まれている金、銀やインジウムなどのリサイクル可能な希金属の日本国内蓄積量は世界有数規模だとする試算結果を発表。金は約6,800t、銀は約6万tで、各々世界の埋蔵量の約16%、約22%に相当。

### キングペンギンも絶滅の可能性

フランスの研究機関が発表。温暖化がこのまま進めば、コウテイペンギンに次いで2番目に大きいキングペンギン(オウサマペンギン・体長約90cm)も絶滅の可能性。水温上昇による餌の魚減少のため。

## 情報リンク

### 「レアメタル大辞典」のサイト

<http://www.saisoku.biz/reametal/>

レアメタル(希少金属)に関する解説

### 「ペンギンのペ」のサイト

<http://penguin-pe.hp.infoseek.co.jp/>

ペンギンの種類を写真付で解説

## お知らせ バックナンバーをプレゼント

多数のお申込みありがとうございます。引き続き「地球暮らし」全バックナンバープレゼント実施中です。右記のEメールかFAXまでお申込み下さい。

## 編集後記 ご無体な・・・で「ごまかしちゃえ」

先般世間を騒がせた大手製紙会社の「古紙配合率偽装」事件は、そもそも技術的に困難なのに、お役所が「配合率100%じゃなきゃ買わないよ」などとご無体を言ったために起こりました。森林の整備を進める上でも、国内の資源を程よく使うように指導すればいいのに・・・

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com

FAX : 06 - 6855 - 7700

郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-12-11

㈱さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます